


鶴報

第248号
2022年12月20日

日本大学鶴ヶ丘高等学校 広報部
東京都杉並区和泉2-26-12
TEL 03-3322-7521 (代)
<https://www.tsurugaoka.hs.nihon-u.ac.jp>



第69回鶴ヶ丘祭

学校行事《第2学期》

- | | | | |
|-------|------------------------|-------|--------------------|
| 9月1日 | 始業式・防災学習(動画) | 11月5日 | 鶴ヶ丘祭(～6日) |
| 2日 | 1・2年スタディーサポート | 8日 | 1年記述模試 |
| | 3年普通コース基礎学力到達度テスト模試 | | 2年特進コース記述模試(～9日) |
| 3日 | 3年大学入学共通テスト説明会 | 9日 | 1年小論文講座 |
| 7日 | 2年生徒対象修学旅行説明会 | | 2年生徒対象進路説明会 |
| 11日 | 3年特進コース(全員)・普通コース(希望者) | | 3年期末試験(～11日) |
| | 駿台・ベネッセ共通テスト模試会場受験 | 12日 | 2年保護者対象修学旅行説明会 |
| 15日 | 生徒会役員選挙 | 14日 | 1・2年三者面談(～16日) |
| 22日 | 3年基礎学力到達度テスト | 17日 | 2年実力養成講座開始 |
| 28日 | 1年高大連携教育(学部見学) | 18日 | 3年特別選択授業開始 |
| 30日 | 生徒総会 | 19日 | 1・2年コース選択最終締切 |
| 10月1日 | 1年生徒保護者対象進路説明会 | | 第2回受験生保護者対象入試学校説明会 |
| | 3年普通コース三者面談(5日まで) | 28日 | 3年特進コース・普通コース(希望者) |
| 4日 | 日本大学創立記念日 | | 三者面談(～12月3日) |
| 6日 | 3年特進コース(全員)・普通コース(希望者) | 30日 | 1年小論文テスト初回 |
| | 駿台・ベネッセ記述模試 | 12月6日 | 1・2年期末試験(～9日) |
| 12日 | 1・2年中間試験(15日まで) | 12日 | 答案返却授業(～13日) |
| 22日 | 第1回受験生保護者対象入試学校説明会 | 20日 | 終業式 |
| 26日 | 2年高大連携教育(大学模擬講義) | | |
| 30日 | 3年特進コース(全員)・普通コース(希望者) | | |
| | 駿台・ベネッセ共通テスト模試会場受験 | | |

第69回鶴ヶ丘祭



3年生テーマ トリモドセ青春

2年生テーマ 色

1年生テーマ 再現

開催日 2022年11月5日・6日

第六十九回鶴ヶ丘祭 「トリモドセ青春」に寄せて

学校長 川原 容子



去る十一月五・六日の二日間、三年ぶりに対面での文化祭を開催しました。

オンラインでの文化祭は二三年生共に経験はしているものの、一年生同様、対面での開催はこれが初めてとなりました。先生方も久方ぶりの開催に戸惑いながらも、前向きに準備に取り組んでくれました。

三年生のテーマは『トリモドセ青春』
入学時から制限の多い高校生活でした。コロナ禍前に想像していた「憧れの文化祭」の実現に向けての挑戦です。

二年生のテーマは『色』
学年で決めたクラスカラーをテーマに「学びを遊びに。遊びを

学ぶに。」を実現させました。

一年生のテーマは『再現』

デジタルの世界ではなく、リアルな場所や時代を体験したい。そんなワクワクをクラスに創り出す「いろいろな場所や時代、物語などの世界観」の再現です。

更に、体育館・多目的ホール・一部の教室・エントランスでは、文化部のパフォーマンスが繰り広げられました。

どうなることかと、心配ばかりしていましたが、さすが鶴高校生です。

時間も限られ、感染対策を考えながらの不自由な中でも、実に面白いアイデアが生まれ、素晴らしい展示の出来栄でした。

生徒達の生き生きとした、一人では到底できないことに周囲と協働し取り組んでいる姿を見て、改めて、開催出来てよかったと心から感じた次第です。

コロナ禍前の「当たり前」は、必ずしもそうではなかったことを実感できる場となりました。

全員が手探りの文化祭を作り上げていくことで、「鶴ヶ丘祭とはどうあるべきなのか？」と考えるきっかけになったと思います。そこから「対

話」が生まれ、相手を思いやりながら、支え合って本番を迎えることができました。

本校にとつての行事や部活動は、学校教育目標の『多様な人々との対話と協働』を育める大切な場です。対面での開催で、改めて取り戻せた「トリモドセタ」生徒達の成長の場に感謝しています。

コロナと付き合いながら、今後はこれを機に、更に大きく羽ばたく鶴のごとく、それぞれの活躍の場を広げていきましょう。





文化祭を終えて

鶴ヶ丘祭実行委員長

二二 牧野 結衣 (勝瀬中)

今回は三年ぶりの、対面での鶴ヶ丘祭となりました。感染拡大の影響で外部からは三年生の保護者の方のみの参加でしたが、通常開催への大きな一歩であったとともに、新たな鶴ヶ丘祭が再スタートするはじめての一歩になったとも思います。

まずは実行委員として鶴の装飾、門の作成、当日の運営などを進めてくれたみなさん、本当にありがとうございました。クラス実行委員の方々も順調に仕事が進まなかった

りと苦悩の日々を送ったと思います。私も文化祭準備期間は非常に忙しかつたです。しかし、私が仕事に追われている時、沢山の人が最終下校時刻ギリギリまで残って作業を手伝ってくれました。そのおかげで私は、実行委員長としての職責を全うすることができました。また、色々な場面で私たち生徒のサポートをして下さった先生方、本当にありがとうございました。

最後になりますが、今年の反省点、良かった点を活かして来年の鶴ヶ丘祭に繋げられたら嬉しいですね。



鶴ヶ丘祭

生徒会指導部主任 久保田善政

十一月五日(土)・六日(日)の日程で、本校文化祭、鶴ヶ丘祭が開催された。新型コロナウイルス感染症対策のため、両日とも発表時間は半日、参加者は生徒と三年生保護者に限定となったが、三年ぶりの開催である。三年は「トリモドセ青春」、二年は「色」、一年は「再現」と各学年でテーマを設定しての発表・参加型企画、各クラブの企画やステージ発表など、生徒たちはそれぞれの立場で大いに鶴ヶ丘高校最大のイベントを盛り上げていた。

年度当初は映像祭で行事日程が組まれており、平常時に近い形での

実施が決まったのが一学期末である。平常時の鶴ヶ丘祭を経験したことのある生徒は誰一人おらず、感染対策のこともあり、いろいろなことがゼロから考えて決めていかなければならなかった。時間に余裕がない中、思うようにいかなかったり進まなかったり…。準備が進むにつれて、クラスの多くの仲間と対話し、ときに折り合いをつけながら協力して作り上げていく様子が多く見受けられるようになっていった。今回、生徒や教職員だけでなく、桜園会や保護者の皆様の協力もあって、生徒にとって初めての、そして三年生にとっては最後の鶴ヶ丘祭が実現し、無事開催して終えることができた。

● 全国大会出場記 ●

ウエイトリフティング部

令和四年度全国高等学校総合体育大会
ウエイトリフティング競技大会

「全国の舞台を経て感じたこと」

二日 田淵 英史 (石神井西中)



今回の初めての全国大会は良い結果を残すことはできませんでしたが、自分の弱さを実感できるとても貴重な場でした。初めての全国大会は今までの大会と比べても会場は広く、いつも以上に緊張しました。全国大会という大きな舞台で六本の試技を成功させるのは難しく、二回失敗してしまい目標の重量に届きませんでした。この競技は上手さや強さも大事ですが、何よりも気持ちが一番大事です。私はこれまで強くなりた理由を見つけないでできなかったように思います。しかし全国大会の結果を見て、自分の弱さを実感し、とても悔しく思いました。また、自分と同学年で強い人たちが沢山いるとわかり、「強くなりたい」負

けたくない」と思いました。全国大会は自分の弱さを知り、もっと強くなりたいと感じることができたとても実りのある大会となりました。来年の最後の全国大会に向け、今回の経験を糧に日々の練習に本気で取り組み、表彰台に上られるよう頑張りたいです。

「全国大会で学んだこと」

二日 小川 裕真 (松ノ木中)



私はこの遠征で沢山のことを学ぶことができ、その中でも仲間からの声援は大きな力になるということを特に感じました。ウエイトリフティングは個人競技と思われがちですが、実は団体で争うスポーツと言っても過言ではありません。チームとして士気を高めるために声を出したり、試技の際に互いに応援しあったりします。この声のかけ合いで、チームの雰囲気も良くなり、それが自己ベスト更新につながることもよくあります。私は、インターハイ出場時に、スナッチであまり良い結果を残せませんでした。しかし、クリーン&ジャークとの間にできた時間に選手控え室へ行き、そこでチームメイトから、「もっとがんばれよ」などの言葉をもらいました。この瞬間から緊張が和らぎ、クリーン&ジャーク

「初めての全国の舞台」

二日 久保 皓正 (稲田中)



八月に愛媛県で開催されたインターハイに出場しました。私を含め、部員全員が関東大会より大きな大会に出たことはなく、初めての全国の舞台となりました。初めての全国大会ということもあり、緊張による体のこわばりを感じながらも会場に向かいました。会場に着いて、ウォーミングアップを開始すると徐々に身体が温まっていき、リラクセスした動きができるようになっていきました。試技の順番が回ってきて、プラットフォームに上がった時にはもう緊張はなく、「挙げたい」という事しか頭にありませんでした。スナッチでは一本落としてしまったものの、目標としていた重量を取ることができましたが、その後のクリーン&ジャークでは目標の重量を触ることもできずに、悔しい結果となってしまいました。

大舞台を経験したことは

この先の自分にとつて大きな糧になったと思います。しかし、そこで結果を出すためには日々の練習や準備をもっとこだわってやらなければならぬということを感じました。



放送部

第六十九回NHK杯全国高校放送コンテスト

「続・コロナ禍での全国大会」

放送部顧問 近藤 明宏

新年度を迎え、コロナ禍が続いているとはいえ、部活動については、感染予防を徹底する条件のもと、通常の活動に近い形で実施できるようになった。放送部についても、部活動説明会動画の効果があったのか新入部員九名を迎えることができた。

昨年度は、東京都大会・全国大会ともに、個人部門(アナウンス・朗読)は録音審査、番組部門(創作テレビドラマ・創作ラジオドラマ)は作品提出となり、実際に生徒が大会会場で発表することはできなかった。大会を通じた他校との交



流ができないという異常事態であったが、大会は実施し、部員のがんばりが評価される機会が失われなかったことが救いであった。

今年度は、東京都大会予選については、昨年同様、会場（桐朋女子高等学校）には顧問が録音データや作品データを持参し、非公開審査を実施した。決勝については個人部門のみ生徒参加が許可され、アナウンス部門で決勝に進出した一名のみが大会に参加し、緊張しながらもアナウンスを実演した。

全国大会においては、オミクロン株の流行が爆発的に増加しオンライン開催に切り替わることが懸念されたが、人数制限のもと会場での開催となった。今回は、創作ラジオドラマ部門（作品名：Summer Time Limit 製作代表：永井明日香）において全国大会に出場することができた。準決勝までは、国立オリンピック記念青少年総合センターで実施され、他校の作品を見聞きする機会もあり、参加部員は全国レベルの作品を知った。決勝は、

三年ぶりの渋谷のNHKホールで開催された。決勝進出校は当日の朝、NHKホールに入場後発表される。本校は残念ながら決勝には進出したことがないが、準決勝での審査員講評の内容から、以前よりも期待度は高かった。

スクリーンに大写真になった決勝進出校の中には本校の校名を見つけることは叶わなかったが「入選」の中に本校の校名をみつけることができ、当日の昼休みに賞状と盾を受領した。優勝（二位）、準優勝（二位）、優秀（三位）、優良（四位相当）につき、入選（六位相当）である。予選を含めると五二九作品の中の六位である。それだけでも快挙といえるのであるが、制作代表生徒に言わせれば「悔しい」となる。以前にも「入選」となったことがあったので顧問としてもそれは超えたいという願望があった。ただ、以前「入選」したときの代表生徒は三年生であり、それをもって活動にピリオドをうった。しかし、今回の製作代表者は二年生である。既に本人の心には「捲土重来」という文字が刻み込まれているようである。

演劇部・放送部

第四十六回全国高等学校総合文化祭（とうきょう総文二〇二二）の開催に携わって

「文化部のインターハイ」とも称される全国高等学校総合文化祭は各都道府県持ち回りで開催し、今年で四十六回

を迎える伝統ある高校生文化の祭典である。全国には四十七都道府県存在するので、東京都が開催地となるのは初めてのことである。



演劇部・放送部ともに、顧問・生徒が部門別実行委員となり、二年前から本格的に準備を始めた。初代の委員は既に卒業し大学生になった者もいる。今年度になり、演劇部と放送部の生徒および顧問が実行委員に加え、運営担当として顧問に携わるようになった。演劇部門は、七月三十一日から八月二日の三日間、中野区のなかのZERO大ホールで開催された。放送部門は八月四日・五日の二日間、大田区の日本工学院専門学校片柳ホールで開催された。実際には仕込みやり取りにも携わっているため二三日加えた日数会場に通い詰め、連日朝早くから夜遅くまで業務にあたっている。両部門とも全国各地からの来場者を迎え、他校の生徒とともに、受付・誘導などのおもてなしや裏方などいろいろな形で大会運営に携わった。演劇部部長の篠宮沙希さんは読売新聞全国版に尽力する姿が掲載されるなど、両部とも大いに活躍した。

演劇部

部門別実行委員
顧問 村山 大輔（大会実行委員長）
部員 篠宮 沙希・北岸 果奈・光野 貢生

放送部

部門別実行委員
顧問 近藤 明宏
部員 相宮 優佳・永井明日香
運営担当

顧問 松井 秀之
部員 藤崎 優希・橋本 実希・勝畑 良太・塚越 青・中谷 庵志・菅澤 香澄・小松崎愛菜・島倉 優月・住吉那津美・村上 統美・中川 智遥・柱本 周大・井上 綾乃・北村 新太・山本 一颯



芸術鑑賞教室

演劇の世界に
心が満たされるひととき

六月二十日、本校体育館にて芸術鑑賞教室が開催された。

今年度は、劇団「秋田雨雀・土方与志記念青年劇場」(以下「青年劇場」)による演劇「きみはいくさに征ったけれど」を鑑賞した。

「青年劇場」は、一九六四年、八名の俳優・演出家を中心となって結成された、創立から六十年以上の歴史をもつ劇団で、コロナ禍の二〇二一年にも五作品を上演するなど、数多くの公演実績を誇るのみならず、「中高生のための演劇教室」と銘打たれた学校での公演実績も豊富な団体である。

本作「きみはいくさに征ったけれど」は、戦

時中に実在し、戦禍に斃れた竹内浩三という人物と、悩み苦しみながら現代を生きる高校生、宮斗を中心に展開される物語である。迫力と熱意にあふれた舞台に引き込まれた生徒達にとつては、あつという間の一時間五十五分であった。さらに、公演後は代表生徒による出演者へのインタビューも行うことができ、非常に充実した一日となった。

コロナ禍において芸術鑑賞に赴くことが難しい昨今にあつて、学校で演劇公演を行ってもらえる機会に恵まれたことは貴重な経験となった。なお、上演にあたっては、舞台と観客の間は十分な距離をとり、生徒達は入退場時に手指消毒を徹底するなど、取りうるすべての感染症対策を万全に行った。



第26回 校内スピーチコンテスト

〈入賞者〉

- 第1位 近藤 優太 (2B) 「Roman-tic English」
- 第2位 山本 俐桜 (2E) 「Efforts will be Rewarded」
- 第3位 菊地 海帆 (2L) 「Hot springs in countryside」
- 審査員特別賞
渡邊 心 (1H) 「Things we need now」

令和4年6月18日(土)13:45から、本校多目的ホールにおいて、26回目となる英語スピーチコンテストが行われました。今回は1年生から3年生まで、総勢10名の生徒が参加してくれました。

コロナ禍も3年目を迎えましたが、参加者も昨年より倍以上に増え、コンテストを開催できたことは本当にうれしいことです。スピーチの内容も、身近なことから世界規模の問題まで多岐にわたっており、生徒たちの瑞々しい感性と優れた英語の力が感じられました。

コンテストである以上順位がつくこととなりますが、勇気を出して参加し、観客に思いを伝えようと努力した参加者全員に大きな拍手を送りたいと思います。



ZoomPal Project 2022

コロナ禍をきっかけに誕生した、Zoomを利用した海外交流プログラム。海の向こうに本当の友達を作ることが目標です。

「コロナ禍でも国際交流をあきらめない!」をスローガンにした「ZoomPal Project」も今年で3回目を迎えました。鶴ヶ丘高校・Grace Lutheran College (オーストラリア・ブリスベン) からそれぞれ14名の生徒が参加し、ICT機器を駆使して友情を深めました。

8月17日・25日の2回の全体セッションでは、例年よりもかなり内容をグレードアップし、生徒が企画したゲームに挑戦することができました。同じ課題を共にこなすことで絆が生まれ、セッション外でのやりとりも例年より活発になったと思います。

ZoomPalの名物であるリモート2ショット作成や、秋田公立美術大学主催の「全国高校生何でも、アリ。Creative Award 2022」への共同参加を通して、それぞれのペアが思い出を作ってくれたことを嬉しく思います。

一日も早く、生徒たちがbuddy (相方) と直接言葉を交わせる日が来ますように!

コロナ禍でも、できることを —様々な国際交流—

長引くコロナ禍で、海外渡航が難しかったこの数年ですが、この状況でも取り組むことができる国際交流プログラムに参加したり、留学準備を進めている生徒もいます。率先して各種プログラムに参加した生徒には、積極的にイベントの体験談や感想を共有し、他の生徒へのモチベーターとして活躍することもお願いしています。

〈生徒のイベント参加実績〉

- Empowerment Program 2022 Summer (於 東京外国語大学)
- TOKYO ENGLISH CHANNEL オンラインイベント (バーチャル留学)
- NPO留学協会外国人留学生と日本人学生のオンライン異文化交流会
- 立命館アジア太平洋大学主催 自宅から世界と繋がろう!
『オンライン国際交流プログラム』



進路指導部より 1・2学期の取り組み

〔1学年キャリアガイダンス〕

6月25日（土）にキャリアガイダンスを開催した。同窓会の協力のもと、各方面で活躍する本校の卒業生16名を講師としてお招きし、仕事内容、経歴、キャリアデザイン、そして高校生活におけるアドバイスなど多岐にわたるお話をいただいた。アニメーター、弁護士、警察官、公認会計士など様々な職業の中から生徒たちは1人2講座を選択し、各80分の講座を受ける。講座によっては一緒に体を動かし、仕事内容を体験するものもあった。講師は20代から60代まで年代も様々で、生徒は仕事内容だけでなくその生き方にも刺激を受けたようだ。薬剤師の話聴いた生徒は『「薬剤師という職業は医療の現場でリーダーになることはできないが、患者が良くなった時、笑顔が見られる」と話していて、縁の下の力持ち的な存在がとてもかっこいいと思った。』と感想を述べた。これからの進路を考えていく生徒たちに新たな視点を与えてくれる機会になったようだ。

〔2学年大学模擬講義〕

10月26日（水）に大学模擬講義を開催した。これは本校の高大連携行事の一つである。1年次に実施される学部見学会では「大学ってこんなところ」ということを漠然と知ってもらうことを目的としているのに対して、この行事は将来のキャリア選択を見据えて、それを実現するためにはどの学部に行くべきかを考え、実際の大学の授業に触れることにより、進学目標を明確化することを目的としている。当日、日本大学から法、文理、商、経済、芸術、理工、生物資源科の7学部、また他大学は成蹊、東京女子、東京薬科、玉川、女子栄養の5大学の先生に来ていただき、生徒は50分の講義を2種類受講した。これらの大学・学部にはいずれも毎年、本校から多くの生徒が進学している。今回の講座をきっかけとして、より多くの生徒が自分の希望進路実現へのモチベーションを高めてくれることを期待している。

〔3学年生徒保護者対象進路説明会〕

6月25日（土）に生徒保護者対象進路説明会を開催した。過去2年間はコロナ禍の影響で動画配信という形式で実施していたが、3年ぶりに生徒は対面、保護者にはZoomのライブ配信というハイブリッド形式での実施となった。3年生は7月の三者面談で担任、保護者に対して自分の希望進路を伝え、夏休みはその実現のために基礎学力の向上、志望理由書の作成等に邁進することになる。この説明会では夏休みを前にして今後どのようなプロセスを経て進学していくのかについて、より具体的に説明している。また、この説明会の記録動画も期間限定で公開することにより、欠席した生徒もしくは見逃した保護者等が後日確認できるようにした。



令和四年度 特待生・奨学生

七月二日(土)に、本校多目的ホールにおいて、今年度の日本大学特待生と、本校奨学生に対する授与式が行われました。受賞者は以下の通りです。

受賞者氏名

日本大学特待生

- 三A 鈴木 冬聖(橘中)
- 三E 榎本 里華(三鷹一中)
- 二A 木村 栄輝(府中六中)
- 二B 森谷 海玲(千川中)

日本大学鶴ヶ丘高等学校奨学生

◎第一種

- 三C 藤村和花奈(小金井緑中)
- 三K 荻島 日和(打越中)
- 三K 宮崎 歩梨(千歳中)
- 三L 滝口 陽太(菅中)
- 二G 相宮 優佳(赤塚二中)
- 二L 上田ひかる(三鷹五中)
- 二L 崎田 恋(内谷中)
- 二L 三隅 朱莉(井荻中)

◎第二種

- 一C 武田なつめ(用賀中)
- 一K 小俣 智己(八王子宮上中)
- 一K 土田 桃子(西宮中)
- 一K 長尾 歩実(調布七中)
- 一K 米田涼太郎(狛江一中)
- 一K 山田心々菜(用賀中)

◎第一種 日本大学鶴ヶ丘高等学校英明奨学生

- 三I 増田 海希(松溪中)
- 三K 岩本 佳波(調布四中)
- 三K 滝沢 奈己(杉森中)
- 三L 岡村 優花(世田谷中)
- 二C 佐野 理奈(松沢中)
- 二L 中井 実紅(東村山三中)
- 二L 山田みなみ(三鷹一中)
- 二L 木村 優那(桜丘中)
- 一C 石丸 寛大(武蔵野三中)
- 一E 望月 桜乃(町田鶴川二中)
- 一G 塚本 桃々(豎川中)
- 一K 原田 辰輝(北沢中)



広報室

〈退職〉

久保 裕美 教諭

令和4年8月11日をもって、定年退職されました。本校には42年に渡り多大な貢献をなされました。ありがとうございました。なお、久保先生には引き続き非常勤講師として本年度末までご尽力いただく予定です。

山口 恭子 事務課課長補佐

令和4年8月31日をもって、退職されました。本校には1年に渡り多大な貢献をなされました。ありがとうございました。

〈異動(転出)〉

和田 靖範 事務課長

令和4年10月1日付で、日本大学生物資源科学部会計課長に就任されました。

〈異動(転入)〉

山本 直樹 事務課長

令和4年10月1日付で、日本大学生物資源科学部会計課より、本校事務課長として就任されました。



- 男子61kg級 トータル160kg 43位
増田 宜晃
- 男子81kg級 トータル191kg 33位
小川 裕真
- 男子89kg級 トータル201kg 22位
久保 皓正
- 女子45kg級 トータル111kg 5位
尾形 薫子
- 女子59kg級 トータル101kg 17位
富田 菜央
- ▽令和4年度第66回関東ウエイトリフティング選手権大会(8/27・28 於:駒沢オリンピック公園総合運動場体育館)
- 男子55kg級 トータル163kg 2位
田淵 英史
- 男子81kg級 トータル195kg 7位
小川 裕真
- 男子96kg級 トータル185kg 7位
本山 陽 (2L・松ノ木中)
- ▽第77回国民体育大会ウエイトリフティング競技会(10/6~10 於:栃木県小山市立体育館)
- 男子89kg級 トータル195kg 16位
久保 皓正 (2K・稲田中)
- 放送部
- ▽第69回NHK杯全国高等学校放送コンテスト東京都大会(予選6/5、決勝6/19)
- 【創作ラジオドラマ部門】
優勝 Summer Time Limit

- 制作代表
永井明日香 (2K・千歳中)
- ※全国大会出場
- ▽第69回NHK杯全国高等学校放送コンテスト全国大会(7/7~9、7/27~28)
- 【創作ラジオドラマ部門】
入選(全国6位相当)
Summer Time Limit
制作代表 永井明日香
- ▽第46回高等学校総合文化祭東京大会(8/3~4)
- 【放送部門生徒実行委員】
相宮 優佳 (2G・赤塚二中)・
永井明日香
- 【放送部門実行委員(大会役員)】
近藤 明宏(顧問)
- 【放送部門係員】
生徒:生徒実行委員を除く1・2年生全部員
教員:松井 秀之(顧問)
- 演劇部
- ▽東京都城西地区春季発表会(5/3)
「勧誘する話」作 むらやまだいすけ
- ▽東京都城西地区大会(9/18)
「書けない話」
作 崎田 恋 (2L・内谷中)
- 吹奏楽部
- ▽第62回東京都高等学校吹奏楽コンクール(8/14・15)
- B組 金賞・最優秀賞

- C組 銅賞
- ▽アンサンブルフェスタ2022開催(10/4)
- ▽第55回「ゴールデンパレード2022」出演(10/23)
- ▽第14回杉並納税街頭キャンペーン・青梅街道パレード出演(10/30)
- バトントワリング部
- ▽令和4年8月東京都バトン協会バトントワリングコンテスト大田区大会
入門・初級 金賞受賞
- ▽令和4年10月第55回「ゴールデンパレード2022」参加
- ▽令和4年10月第14回「杉並納税街頭キャンペーンパレード」参加
- ▽令和4年11月鶴ヶ丘祭演技披露
- 茶華道部
- ▽いけばな嵯峨御流(京都大覚寺) 許状取得
中伝(2022年8月)
森本 愉万 (3A・市川第二中)
多嶋 天鞠 (3E・元八王子中)
山崎久琉美 (3F・西台中)
魚谷菜々美 (3G・高洲中)
山田 結女 (3H・桐田中)
小森 以愛 (3K・麴町中)
- 料理部
- ▽料理検定&菓子検定(6/4)
12名合格
- ▽食品加工実習 於:生物資源科学部(8/19)
- ▽陶芸体験 於:明月窯(8/29)

第55期 生徒会役員紹介



会長 村上 琴乃(二F・板橋三中)

コロナが落ち着いてだんだんとコロナ禍前の生活に戻つつありますね。皆さん、今の学校生活はどうですか。楽しんでますか？

生徒会と聞くと少し堅苦しいイメージを持ってしまいかもしませんが、全然そんなことはありません。気軽に相談でも要望でも何でも話しに来て下さい。この一年は皆さんとより密接に関わり合い、意見を反映させて、共に快適な鶴高を作っていきたいと思っています。よろしくお願ひします！

副会長 一 航生(二B・大泉学園校中)

今年度も昨年度よりは弱くなったとはいえ依然としてコロナウイルス感染症の危険は付き纏っています。そのような中でも生徒会としての勤めを果たしていかれたらと考えています。また昨年度まで出来なかったことにも挑戦したいと思っています。今年度もよろしくお願ひします。

副会長 吉田 璃子(一J・光が丘一中)

私は副会長として、まだまだ未熟な部分はある

ますが、生徒の皆さんの意見を取り入れ、生徒の皆さんが楽しく安全に過ごせる学校にしていきたいと思っています。鶴高のために誠心誠意頑張りますので一年間よろしくお願ひいたします。

書記 松井莉央奈(一F・川崎西高津中)

私は、生徒会書記として、話し合いの内容をわかりやすくまとめ、話し合いの場面では、役職に囚われず、積極的に意見を出していきます。一つ一つの仕事と向き合い、生徒のみんなが楽しく学校に來たい！と思えるような学校にできるよう、努力します。

書記 岩田 美咲(一J・雁が音中)

私は生徒会の一員という自覚を持ち、様々な視点からの意見を考慮して、自ら積極的に行動します。そして活動を通して皆さんの高校生活をよりよいものにしていくよう一杯頑張りますので、一年間よろしくお願ひします。

会計 村上 統美(一B・北町中)

私は制限が緩和されてきたとはいえ、まだ元の状態とは言えないこのコロナ禍でもできることを行いたいと考えています。小さなところから少しずつ変えていき、みんながより通いやすい、今よりも好きになってもらえる学校を作っていきたいです。わからないことも多くスムーズにはいかないと思いますが、全力で頑張ります。

会計 河野 里奈(一G・三鷹二中)

私は、今では非日常になっっているものを、もう一度日常へと変えるよう努力します。しかし、以前の日常を知っている生徒はこの学校にはいません。皆さんの意見を元に新しい日常を一緒に作っていかれたらと思っています。ご協力お願ひします。

部活動報告

■水泳部

▽東京都高等学校春季水泳競技大会
5/28～29 東京辰巳国際水泳場
女子4×100mフリー・メドレーリレー、他

▽第69回日本大学体育大会(高校の部)水泳競技会
6/1 東京辰巳国際水泳場
女子4×100mフリー・メドレーリレー、4×200mフリーリレー、他

▽東京都高等学校選手権水泳競技大会(兼関東大会予選・国民体育大会予選)
6/25～26 東京辰巳国際水泳場
女子4×100mフリー・メドレーリレー、4×200mフリーリレー、他

吉田 麗央(3A・杉並高井戸中)
和田 楓那(3A・文京本郷台中)
種田 堯礼(3C・府中六中)
須和田紗也(3C・町田二中)
山本 華凜(3E・国分寺五中)
笹子 海風(3J・小平六中)
桐谷 芽衣(3J・篠崎中)

★本大会をもちまして、水泳部は活動を休止いたします。

■野球部

▽第104回全国高等学校野球選手権大会西東京大会(7/10～7/31)
3回戦 本校6-3八王子実践
4回戦 本校5-0帝京八王子
5回戦 本校5-2昭和
準々決勝 本校4-5富士森

▽令和4年度秋季東京都高等学校野球大会一次予選(9/3～9/25)
1回戦 本校13-0専大附
2回戦 本校5-4豊南
本戦(10/8～11/13)
1回戦 本校1-8岩倉

■サッカー部

▽全国高校サッカー選手権東京都予選1次予選
1回戦 本校3-0中央国際
2回戦 本校3-0小平
ブロック決勝 本校2-1目白研心

2次予選
2回戦 本校0-3多摩大目黒
Aブロック ベスト29

▽日本大学体育大会予選リーグ
本校1-0日大高校
本校1-0佐野日大
本校3-0岩瀬日大
予選リーグ 1位
決勝トーナメント
1回戦 本校0-1長野日大
5位決定戦 本校2-0日大習志野

■男子バスケットボール部

▽全国高校総体東京都予選(5/22)
1回戦 本校51-52都立神代

▽日本大学体育大会(8/30・31)グループ予選(8/30)
本校19-34日大三島高校
本校42-40日大山形高校
本校64-13佐野日大高校
グループ2位通過
順位決定トーナメント(8/31)
本校54-104日大豊山高校
本校75-45 千葉日大高校

▽第9支部大会(9/18・19)グループリーグ(9/18)
本校83-48東京立正高校
本校56-58文大杉並高校

順位決定リーグ(9/19)

本校 80-63東亜学園高校
本校104-73明大中野高校
2位グループ1位

■女子バスケットボール部

▽令和4年度東京都高等学校総合体育大会
2回戦 5/29(日) 本校127-17
3回戦 6/5(日) 本校 90-66
4回戦 6/12(日) 本校 68-77
※結果、ベスト54/約300校中

▽令和4年度夏季大会
1回戦 8/21(日)
本校35-77文化学園大学杉並

▽私学第九支部大会
9/18(日) 本校89-30杉並学院
9/23(金) 本校54-52中央大学杉並

■男子バレーボール部

▽関東大会予選(4/24)
1回戦 本校0-2城東

▽インターハイ予選(6/12)
1回戦 本校2-1千歳丘
2回戦 本校2-0府中西
3回戦 本校0-2文京

▽私学大会(8/16)
1回戦 本校0-2日大豊山

▽日大付属大会(8/29、30)リーグ戦
1回戦 本校0-2大垣日大
2回戦 本校2-1日大習志野

順位決定戦

1回戦 本校0-2日大高校

▽9支部大会(9/4)
1回戦 本校2-1國學院久我山
2回戦 本校0-2明大中野
3回戦 本校0-2東京立正

▽全日本選手権1次予選(9/23、25)
1回戦 本校2-0墨田川
2回戦 本校2-0駒場
3回戦 本校2-1昭和第一
4回戦 本校0-2明大明治

■女子バレーボール部

▽第70回東京私立中学高等学校バレーボール大会(8/16、17)
本校2-0三輪田学園
本校2-0大東文化一
本校2-0貞静学園
本校0-2藤村女子

▽夏季大会(8/20)
本校0-2東海大菅生

▽付属大会(9/14、15)予選リーグ
本校0-2日大三高
本校0-2土浦日大
本校2-0日大高校
順位決定トーナメント
本校2-0日大二高
本校2-0日大櫻丘
本校2-0日大藤沢
この結果、付属17校中9位となる

■アメリカンフットボール部

▽令和4年度東京都秋季大会兼第53回全国高等学校アメリカンフットボール選手権大会予選(9/4～10/9)
1回戦 9月4(日) シード
2回戦 9月11(日) シード
3回戦 9月18(日)
本校20-7都立西高
於:日大鶴ヶ丘高Gr.
4回戦 9月25(日)
本校19-12明治学院
於:日大鶴ヶ丘高Gr.
準決勝 10月2(日)
本校0-55俊成学園

於:早大東伏見Gr.

3位決定戦 10月9(日)

本校0-10駒場学園

於:早大東伏見Gr.

東京都 第4位 全国大会出場決定

■男子ソフトテニス部

▽国体選手選考会(6/26～7/3)

都ベスト48

小亀 臣仁(2D・志木中)・

山本 陸(2B・井田中)

▽新人大会(8/24・25)

都ベスト32

小亀 臣仁・

板橋 壺成(2I・桜川中)

▽私学新人戦(9/19～10/2)

都ベスト32

小亀 臣仁・板橋 壺成

都ベスト64

金子 祐万(2D・御成門中)

丸山 賢二(2B・赤塚第三中)

■女子ソフトテニス部

▽全国総合体育大会東京都団体予選

(6/12)

ベスト16

▽城西地区大会(8/11)

ベスト16

古村 杏(2L・貝塚中)・

石本まなみ(2F・薬師中)

▽新人大会(8/24・8/25)

ベスト32

中村 結衣(2I・高南中)・

楠美 優美(1I・清明学園中)

古村 杏・石本まなみ

■バドミントン部

▽関東大会都予選(4/17)

▽インターハイ都予選(個人戦 単複)(5/1～4)

▽インターハイ都予選(団体戦)(6/5・12)

▽新人戦I部大会(関東選抜予選)(個人戦 複)(8/15～19)

▽杉並区国民体育祭【高校生の部】(個人戦 単複)(8/19・20)

▽第九支部大会(団体戦)(8/26)

▽新人戦I部大会(関東選抜予選)(個人戦 単)(9/25・10/2)

▽新人大会(全国選抜予選)(団体戦)(11/3)

■ウエイトリフティング部

▽令和4年度第55回関東高等学校ウエイトリフティング競技大会(6/4・5
於:茨城県石岡第一高等学校)
男子55kg級 トータル161kg 3位
田淵 英史(2H・石神井西中)
男子61kg級 トータル158kg 7位
増田 宜晃(2H・神明中)
男子81kg級 トータル190kg 12位
小川 裕真(2B・松ノ木中)
男子89kg級 トータル197kg 9位
久保 皓正(2K・稲田中)
男子96kg級 トータル170kg 8位
本山 陽(2L・松ノ木中)
女子45kg級 トータル111kg 2位
尾形 薫子(1J・花小金井南中)
女子59kg級 トータル133kg 2位
富田 菜央(2D・調布三中)
女子団体 準優勝

▽令和4年度全国高等学校総合体育大会ウエイトリフティング競技大会(8/5～8 於:愛媛県新居浜市市民体育館)
男子55kg級 トータル162kg 17位
田淵 英史

第69回鶴ヶ丘祭 2022年11月5日・6日

